

防災VG活動と共に住民の安心・安全を目指して

栗原新自治会長

防災だより



関ヶ谷自治会には「関ヶ谷自治会防災指針」と「関ヶ谷地区災害対策本部設置要綱」があり、そこには災害発生に備えるための活動と災害発生時の活動が明記されています。私たちは、いざという時「マニュアル」があれば、いつでも対応可能と思いがちですが、実際は「マニュアル」は一つの約束事であり、日常の防災活動を通して、内容と現状が適切であるか、常にチェックして活用しているかなければ、意味がありません。また、新聞によりますと、「首都圏直下地震対策特別措置法」が2013年12月に施行されましたが、緊急輸送道路の整備や燃料備蓄計画が未定

の自治体はほとんど、このことでは、地震の規模によっても、家屋の崩壊・焼失は想定されません。その時、私たちは、隣近所とのコミュニケーションの必要性、自治会として防災・減災力を高める取り組みなど、日常的な「防災意識の向上」が問われます。本大震災から7年となる、防災訓練の形骸化や参加者の低迷が現実ではないでしょうか。昨年同様、防災ボランティアと共に、防災訓練に住民が参加しやすい工夫を検討し、「マニュアル」が活用され、住民の安心・安全が図られます。

第20号

平成30年5月15日発行

関ヶ谷自治会 防災部
防災ボランティアグループ

- *防火チーム
- *情報・通信・電機チーム
- *医療・介護チーム
- *食糧・物資チーム
- *防災資機材取組チーム

自治会館784-4447



防災VG 新グループリーダーに聞く

第一グループリーダー
小澤 誠一

私は自治会で防災ボランティアを立ち上げるときメンバーを募集していたので、応募しました。入会後、各種の防災訓練（自治会内の訓練）に時間が許されるときは出来るだけ参加するようにしていました。

この程度の経験しか無い私にグループリーダーになってほしいとの要請がありました。グループリーダーの仕事は何もわからず、その重さもわからないので長い間断り続けてきました。その後も二度要請がありました。それも断ってききましたが、月に一度の会議に参加し、その中で決まったことを皆で行い、誰でも出来ることだからと言われ、今回引き受けることにしました。

しかし、引き受けたからには防災ボランティアグループ（VG）のグループリーダーとして頑張り、自分なりに努力

していると思います。このような私です。皆さんには大変ご迷惑をかける事が多くなるのではないかと心配しています。なにも分からない事はあります。これからは色々なことを教えていただき、出来るだけ皆さんの足手まといにならないよう一歩一歩努力していきますので、よろしくお祈りします。



新グループリーダーの3人

第二グループリーダー
小松 勝子

私たちは環境に恵まれた地域で過ごしていますが、突然、災害が起きた時冷静さを失い、パニックになってしまふのではと、思います。高齢化が進んでいる現在、声を掛け合うことで、コ

第三グループリーダー
武居 晋亮

昭和58年に茨城県水戸市より引越して来ました。茨城県は地震の多い地域であり、月に数回は地震の揺れを感じていました。が、当地では年に数回軽い揺れを感じる程度で、水害の心配も無く環境的にも安全な地域に住んでいるとの感じを持っていました。

しかし、その後、阪神大震災、東日本大震災、熊本地震そして、地球温暖化によると思われる豪雨災害も続き、日本列島は大災害の時代に突入した感があり、当地においても、いつかはと恐れを感じるようになりました。そこで災害前に準備しておくこと、そしていざ災害が発生した時にどう対応

すれば良いのか。関ヶ谷自治会防災指針（自治会会員名簿P17）関ヶ谷地区災害対策本部設置要綱（会員名簿P18・19）、各家庭での事前の自助防災（会員名簿P69・77）、関ヶ谷自治会防災ボランティアグループ規約にある通り多くの作業が有ります。

先ず、自分の身の安全を確保し、次に地区長、班長、住民の皆さんと協力してお互いの安全確認をし、次のステップへと進んで行きますが膨大な作業が想像され多くの皆さんの協力が必要です。よろしくお祈り致します。

自分自身、年長的に要援護者になってもおかしくないと思いつながら自治会関係者の皆さん、民生委員皆さんの頑張りを見て、グループリーダーとして再登板ということになります。もう一汗かいてみるかという事でお引き受けしました。皆さんの協力を得ながら務めてまいります。

さて、最後にお祈りですが、次は自分が防災VGに登録し、代表、副代表、チームリーダー、スキルチームのリーダー、VGメンバーとして活動してみたいと、たくさんの皆さんが参加して下さいることを期待しています。

「AEDを使つての救命活動」講習会に参加して

医療介護チーム 西尾 恵美

3月18日（日）西金沢ケアプラザに於いて関ヶ谷クラブのご協力のもと「AEDを使つての救命活動」講習会を開催しました。

- 1、周りの安全を確認
- 2、倒れている人の反応を確認
- 3、大きな声で応援を呼び119番通報とAEDの手配を依頼する
- 4、呼吸を確認
- 5、胸部圧迫と人工呼吸をしながらAEDの到着を待つ
- 6、AEDの装着



AEDを使った訓練の様子

参加した人からは
 ■実際に体験出来て良かった。
 ■知らない人がたくさんいるので何回もやってほしい
 ■和気あいあいとした楽しい講習会でホントに良かった。
 ■若い消防士さん達と交流が出来て良かった。
 ■体調が悪く体験は出来なかったが見ているだけでも勉強になった。
 ■等々の感想を頂きました。

今回の開催にあたってご協力頂いた関ヶ谷クラブをはじめ皆様方に厚くお礼申し上げます。

寒い天気の中女性陣参加が目立った スタンドパイプ消火訓練

防災VG代表
徳岡 正彦

2月25日(日)寒い生憎の天気でしたが関ヶ谷辻公園で蓋利谷消防所(5名)の指導の下、消火栓からスタンドパイプを使った放水訓練を実施しました。

今回は辻公園でしたが、訓練場所は放水が可能な場所と回数を重ねることにより、出来るだけ関ヶ谷地区全域をカバーできるように行っています。

当日は合同会議の開催日でしたが自治会の全面ご協力で早目に会議を終了して頂き、引き続き訓練を行うことが出来ました。

会議出席の地区区長の皆さまを始め、周辺地区の皆さま等計38名と多くの方々参加をして頂きました。中でも今回は女性陣の参加が目立ちました。皆さま方のご協力で、無事終了出来ました。厚く御礼申し上げます。



寒梅の蕾が開き始めた2月25日、スタンドパイプ取扱い訓練に参加させて頂きました。

曇り空の寒い中で、蓋利谷消防所の方々5名と30人余の参加者の中、消防所長のとても上手な楽しく笑いの伴う説明後、まず消防隊員のデモンストラクションでスタート。いよいよ実演です。なんと初めに呼ばれたのは私、緊張の中、今習った通り行ないました。

この時「バブルを開けてください!」「閉めてください!」は必須です。参加者全員が実際にマンホールを開ける!スタンドパイプを取り付ける!ホースを自ら持つ!を実演しました。

68・10 忍足きよみ

水の圧力に戸惑いながらもホースから思い切り飛び出す水の大きさに感動し無事放水を終了。

今後、何かの時に私でも役立てる気がしました。防火用水のマンホールは関ヶ谷地区全体に69カ所あるそうです。目印は黄色い枠か色の変わったマンホールを探しておいてください。そして、是非次回の訓練に参加して体験してみてください。

寒い中、指導して下さった消防所の皆さま、参加して下さった住民の皆さま本当にありがとうございました。終了後、頂いた温かいお茶に身体も心もほっこりしました。

東京都が防災ブック 第2弾「東京くらし防災」を発行!

「はじめにこんなことが書いてあります。防災で一番大切なこと。それは命を守ることです。東京に大地震が来る。その日に備えて何か行動を起こしていいですか?」具体的な方法がわからない」と理由で災害の対策をしていない人もいます。そんな人に防災をはじめとして「東京くらし防災」は生まれました。



今回の防災ブックは編集に女性のスタッフが参画し、女性の視点からきめ細かな災害への備えを促進することを目的としている。日常の中で、無理なく取り組める防災対策や、避難所における防犯対策、被災生活の様々な課題への対処法を女性スタッフならではの視点で掲載しています。

これから「防災だより」で女性がお選びの記事を何回かに分けて掲載していきます。ご期待ください!

第2回懇親会&炊出し訓練のお知らせ!

昨年の懇親会大変好評でした! 皆様一堂に会しワイワイと食事をなさってください。皆様のご参加を心待ちにしています。

- ★日時: 平成30年7月16日(月)海の日 11時より
 - ★場所: 自治会館1F会議室
 - ★会費: 男性1,000円 女性500円
 - ★お持ちいただくもの:
 - ①お米 お一人0.5合
 - ②御自宅で賞味期限が迫ったビスケット等の非常食品。
- 「一品一食活動」一自治会には食糧などの災害時用の備蓄は一切ありません。災害時、一人ひとりが食料を持ち寄りお互いに助け合うという習慣を身につける活動を一步一步進めたいと思います。
- ★懇親会: アルコール・ソフトドリンク、簡単なオードブル、おつまみ有り
 - ★申し込み: 7月5日(木)までグループリーダーへ
 - 第1GR 小澤誠一 (781)6291
 - 第2GR 小松勝子 090-8013-4278
 - 第3GR 武居晋亮 (782)7884

関ヶ谷自治会 防災アンケート評価

H29年9月実施

B 本部設置について



A 防災指針について



「防災部・防災VG今後の活動予定」

- *5月: 要援護者宅訪問 (民生委員と地区リーダーが新会長の挨拶状を持って)
- *6月: 防災資機材棚卸・稼働確認 (防災部と防災資機材チーム)
- *6月: 放水訓練: 南丸公園付近 (防火チーム)
- *6月: 「見まわり隊2班」と非常食体験コラボ
- *7月: 西金沢学園地域防災拠点運営員会総会

*7月: 防災炊き出し訓練・懇親会
＜新副代表に前自治会長が就任＞
防災VG役員会で昨年末から欠員になっていました副代表に前自治会長の山本覚さんに就任をお願いしましたところ快く承諾頂きましたのでお知らせ致します。

次回防災だよりH30・8月15日予定

